

## 「中高生妊娠相談」専用窓口設置について

昨年11月に中高生妊娠相談窓口を開設しました。

10代の妊娠は誰にも言えずに一人で悩み、時間ばかりが過ぎていく傾向にあります。その結果、危険な孤立出産により、母子共に危険な状況にさらされてしまうリスクもあります。

18歳以下の未婚女性が少しでも相談しやすいように健康保険証がなくてもお金がなくとも、誰にも言わずに受診できるように専用の窓口を設置しました。

専任の専門職が電話やメール、来院での相談に対応します。

## ベネッセ およこの広場より 「おはなしカフェ」をスタート

ベネッセおよこの広場では、福田病院をご利用のマタニティさんと産後ママ向けに、10月より「おはなしカフェ」をスタートすることにいたしました！  
「おはなしカフェ」は、1回約15分間の個別ミニクラスです。  
5つのコンテンツの中からご希望のクラスをスタッフにお知らせください。

### —マタニティさんにおすすめのクラス—

**つぼみクラス**  
出産準備用品・お金・母子手帳などについて

**みつばクラス**  
保育園と幼稚園の違いなど、保活について

### —産後の方におすすめのクラス—

**たんぼぼクラス**  
おもちゃ・絵本の役割、遊び方について

**すみれクラス**  
ふれあいあそびなどについて

**チェリークラス**  
英語のはじめかた、英語教材について

以上の5つです。  
予約も不要ですので、  
ご来院のついでに  
ぜひお立ち寄りください！

### 個人情報利用について

当院がコアラジャーナル郵送のためにお預りしている氏名、住所等の個人情報は、コアラジャーナルの郵送の他、当院で開催する行事のご案内や重要なお知らせ等を送付する目的で利用させていただきます。それ以外の目的で利用させていただく必要が生じた場合には、あらかじめご本人の同意をいただきますので、ご了承ください。

住所が変更になられた方は、福田病院までご連絡下さい。



また、ご来場時はくサービスバスも忘れずにお持ちください！

＜サービスバス＞は、  
▽妊娠4～5ヶ月   ▽妊娠8～10ヶ月  
▽出産直後       ▽生後3か月  
▽生後6か月       ▽1歳のお誕生日

に、それぞれご来場プレゼントを用意しております。時期に合わせたプレゼントになっております！

ベネッセおよこの広場  
(福田病院1階 正面玄関近く)  
TEL:096-211-2112  
営業時間:10時～17時  
日祝休み  
イベントや施設については  
ホームページからも  
ご覧いただけます。



コアラジャーナル編集部



福田病院に関する情報はホームページをご覧ください。



## コアラ ジャーナル KOALA JOURNAL

発行所 熊本市中央区新町2丁目2-6  
〒860-0004 電話 (096) 322-2995  
http://www.fukuda-hp.or.jp  
info@fukuda-hp.or.jp  
愛育会 福田病院  
購読料 一冊 30円 年産300円  
第427号 毎月1回 1日発行

### 手術室看護師

手術室主任看護師 川口 士保

まだまだ寒い日が続く、春の訪れが待ち遠しい日々ですが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。私は病棟の主任看護師を経て、手術室の主任看護師として3年の月日が経ちました。

手術には以前から立ち会う事はあったものの、病棟から手術室に異動となるととても不安だった事を思い出します。皆様は「手術室の看護師」と聞くとどのようなイメージを持たれますか。今回、手術室看護師の役割について少し紹介したいと思います。

手術室看護師には「器械出し」と「外回り」という2つの役割があります。器械出し看護師は、手術中に器械(メスなど)を準備し医師の隣で器械を手渡す役割を担っています。

外回り看護師は、手術前日又は当日にお部屋に直接伺い患者様の状態を確認します。また事前にお話しさせていただく事で、患者様の不安・疑問に思っ

ている事などを少しでも取り除き安心して手術を受けていただけるよう心掛けています。そして、いただいた情報を手術室スタッフと共有し看護計画を立案、手術室の環境を整え物品などの準備を行います。手術中に伴う様々な変化に医師と共に対応し、手術の間接的なケアを行っています。器械出しと外回りのどちらの業務も出来るように訓練し兼任します。

当院では帝王切開だけでなく婦人科や不妊症の検査や手術、その他日帰りの小手術を含めると年間2000件を超える手術が行われています。手術を受けると決め、手術・手術後の過程においては不安や心配、恐怖、期待など様々な気持ちが入り乱れ、患者様はもちろんご家族の中で変化している事とも思います。

緊急手術の患者様に至っては、考え時間さえなく手術にのぞまなくてはなりません。コロナ禍で帝王切開の立ち会い制限やご家族の面会制限がある中で、手術へとのぞむ患者様の不安はさらに増している様に感じられます。手術室看護師は患者様と関わる期間が病棟と比べて短く、長い期間コミュ

ニケーションを図ることが少ない中で術前訪問や手術室へ入室時の声かけ、術後訪問を通じて、患者様の気持ちに寄り添う看護を心掛けています。手術室に入られる患者様から「ドラマみたい!!」という言葉をよく聞くように非日常的な空間ですが、私達手術室看護師は手術中ずっと患者様の近くにいます。

長時間の緊張状態が続いたり、立ちっぱなしの状況や、緊急手術の対応など身体的にも精神的にも負担が大きい現場です。しかし、手術が終わって退室される患者様の「ありがとうございました」という言葉に無事に手術が終わったという達成感もなかなか味わえるものではなく、手術の手助けが出来る事が私達手術室看護師にとってやりがいとなっています。

誰にとっても、どんな手術であっても人生の中でも大きな出来事であり、その大事な出来事に患者様のすぐ側で陰ながらサポートさせていただきたいと思えます。

今後も医師・手術室看護師スタッフ、チーム一丸となって安全・安心・安楽な手術を提供していきたいと思えます。